

東北地方 1か月予報

(8月18日から9月17日までの天候見通し)

平成19年8月17日
仙台管区気象台発表

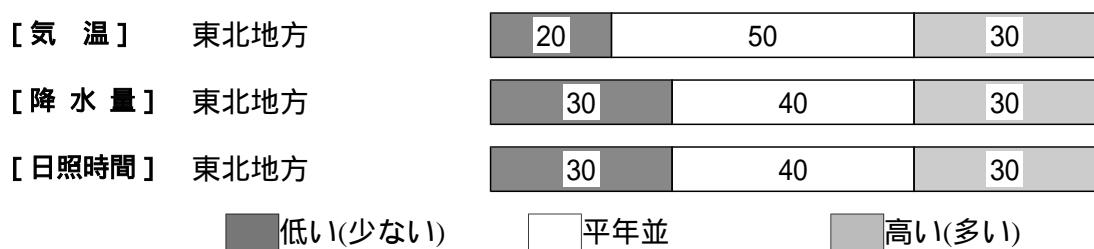
<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が少ないでしょう。

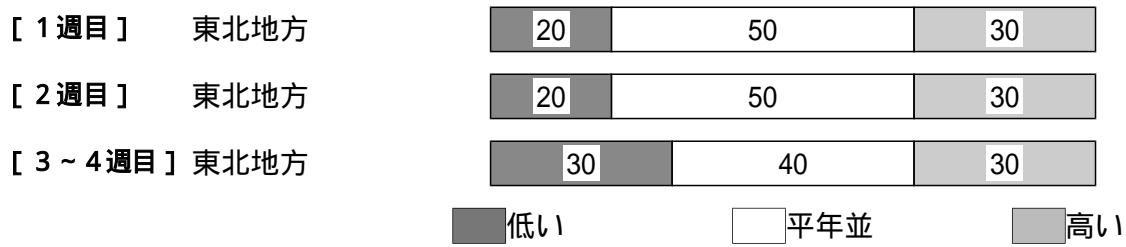
向こう1か月の平均気温は、平年並の確率が50%です。

週別の気温は、1週目、2週目は平年並の確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 8月18日(土) ~ 9月17日(月)

1週目 : 8月18日(土) ~ 8月24日(金)

2週目 : 8月25日(土) ~ 8月31日(金)

3~4週目 : 9月1日(土) ~ 9月14日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は8月24日

3か月予報:8月23日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	21.1	139.4	173.2	22.7	22.0	20.4
深浦	21.3	180.6	169.2	22.9	22.2	20.5
むつ	20.0	176.7	142.3	21.4	20.8	19.3
八戸	20.6	182.5	151.5	22.1	21.4	20.0
秋田	22.4	200.3	177.2	24.4	23.5	21.5
盛岡	20.9	190.3	134.1	23.0	22.0	20.0
大船渡	21.4	234.3	132.1	22.8	22.2	20.7
宮古	20.6	221.9	136.8	22.1	21.5	19.9
仙台	22.4	207.5	130.8	23.9	23.3	21.7
石巻	22.0	157.9	150.0	23.4	22.8	21.3
山形	22.4	155.4	153.0	24.4	23.5	21.5
新庄	21.7	171.9	140.3	23.7	22.8	20.8
酒田	22.9	203.4	177.8	24.8	23.8	22.0
福島	23.2	167.1	131.2	25.0	24.3	22.4
若松	22.7	137.6	161.6	24.6	23.8	21.7
白河	21.5	250.5	130.0	23.1	22.5	20.7
小名浜	23.0	179.0	164.6	24.0	23.8	22.5

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.4	83 ~ 117	93 ~ 106
東北日本海側	-0.5 ~ +0.6	84 ~ 110	92 ~ 107
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	79 ~ 120	89 ~ 109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.7
東北日本海側	-0.5 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年8月17日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月18日～9月17日)：

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は、平年並の確率が50%です。

1週目(8月18日～8月24日)：

東北地方は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は、平年並の確率が50%です。

2週目(8月25日～8月31日)：

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は、平年並の確率が50%です。

3～4週目(9月1日～9月14日)：

天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年と同様に晴れの日が少ないでしょう。

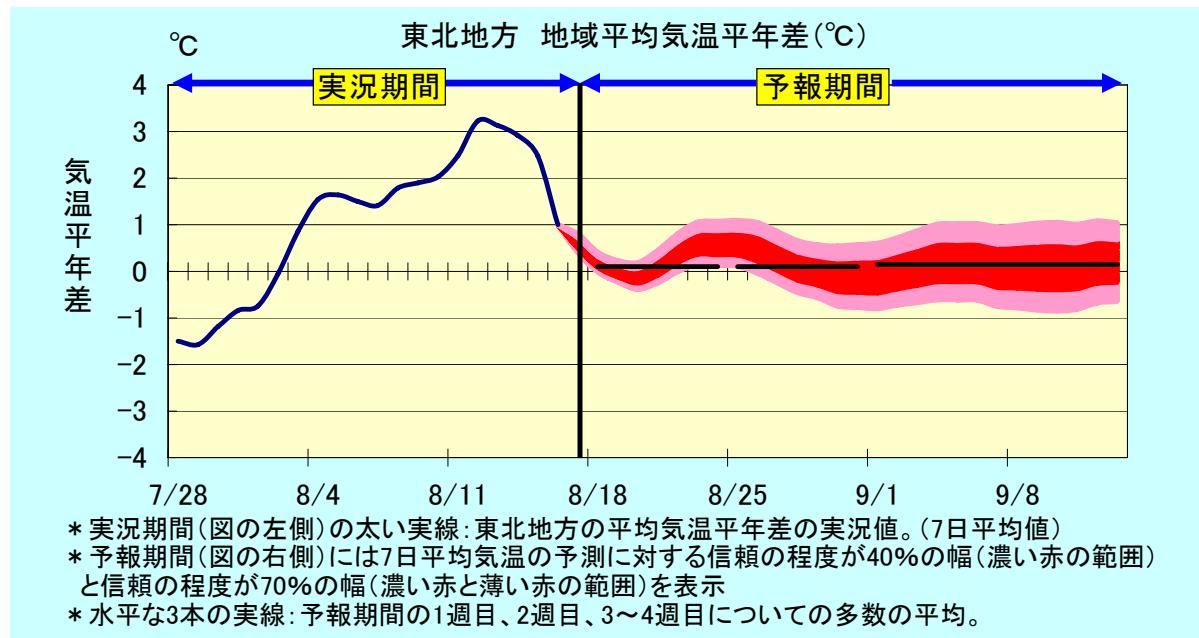
平均気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	14.7日	4.1日	3.9日	6.7日
東北太平洋側	12.6日	3.5日	3.3日	5.8日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに平年並の予想となっている。

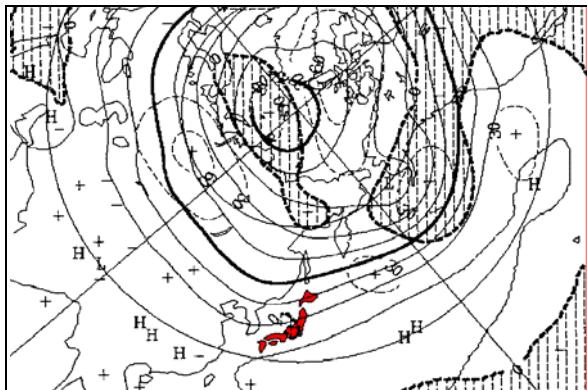


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は正偏差域。太平洋高気圧は平年に比べて強いが、本州付近への張り出しは平年並程度。

1週目：東北地方は負偏差域となるが、太平洋高気圧は強い。地上天気図では日本の南西と関東付近及び東海上に降水域があり（図略）、低気圧や前線の影響を受けやすい。

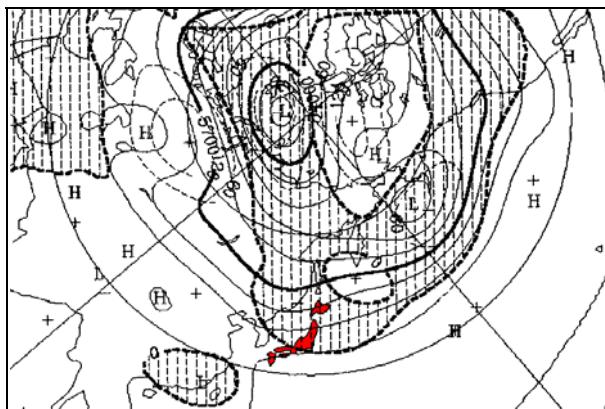
2週目：太平洋高気圧は日本の南からさらに西へ張り出し、東北地方は正偏差域となるが、北海道の西には負偏差域がのこり、気温は平年並の見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

（図の見方は1, 2週目と同じ）

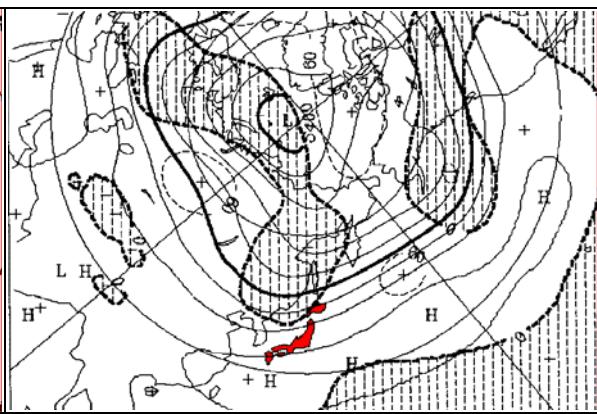
ただし平年差の間隔は 30m 毎）



1週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する



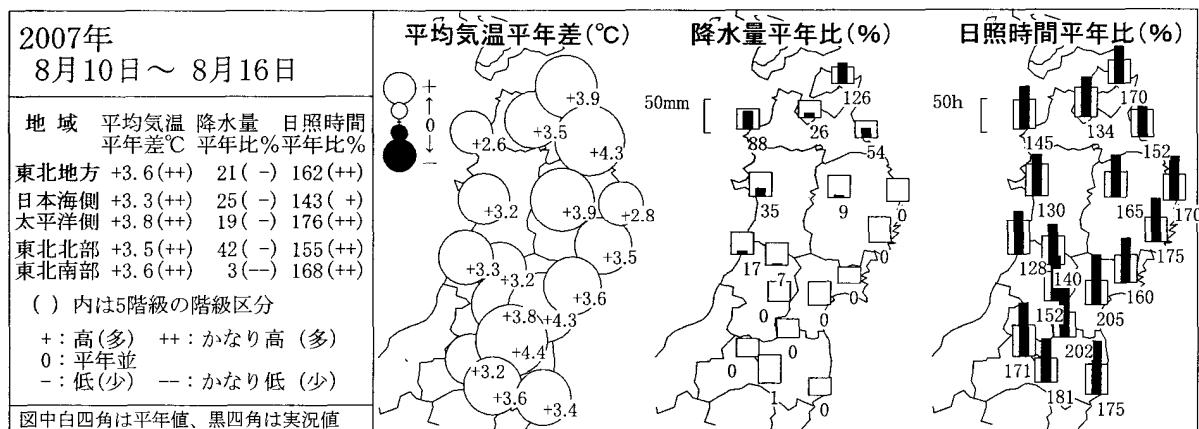
2週目平均 500 hPa 予想天気図

白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（8月10日～8月16日）の天候の経過

この期間、太平洋高気圧の影響により晴れて暑い日が多かった。15日には仙台で37.2度、大船渡で37.0度、石巻で36.8度、白河で35.2度の日最高気温を観測し1位の値を更新した。また、16日には埼玉県熊谷と岐阜県多治見で日最高気温40.9度を観測し、日本での観測開始以来の極値（山形40.8度、1933年）を更新したほか、小名浜で日最高気温の2位の記録となる36.9度を観測した。期間のはじめの10日から11日とおわりの16日は前線や気圧の谷の影響で、東北北部では曇りや雨となるところがあった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）